

干し文化を守れ!わかめ干し若返りプロジェクト

NPO法人たけのかぞく

たけのかぞくについて

私たちは、兵庫県の最北端、豊岡市竹野町で、地域への移住促進をメインに活動しています。

また、竹野の町並みや文化など、「消えそうだけど守りたいもの」を次世代に伝承するための活動も行っています。

本事業では、そうした文化の一つ、「わかめ干し」を地域の若者（移住者を含む）が、生業の一部とするため、新しい商品の開発を行いました。

事業の目的

「わかめ干し」文化の従来のスタイルを見直し、若い担い手が継承しやすいかたちを模索することにより、竹野の春の風物詩を守ること。

また、若者が地域の産業に関わることにより、地域に対する誇りを育むこと。

活動内容

わかめの乾燥加工技術の習得

本事業では、生わかめを洗ってから干す「あらいめ」を製造。製造には竹野在住の若者7名関わった。

朝: 生わかめを真水で洗って屋外で天日干し。

昼: 乾燥小屋へ取込み、灯油を炊いて仕上げ乾燥。

夜: 完全に乾燥したら乾燥材とともに保存箱へ。

漁師の指導を受けつつ、試行錯誤を重ねることにより、真水洗いの回数や小屋の最終湿度の最適値を決定した。

販売形態の検討

従来は、漁協指定の大袋に詰めた乾燥わかめを安価ですべて漁協に買い取ってもらうというスタイルであった。

このスタイルは、原材料や干場代や人件費がかからない漁師家族でなければ採算が取れない。

本事業では、小分けパッケージの商品をで漁協ではなく店舗へ卸すスタイルを念頭においてパッケージをデザインした。

販路開拓

豊岡市の観光地をメインに約15店舗へ営業し、販売した。

今後の展望

干し文化を守っていくためには、わかめを干す人だけでなく、採る人も育てなければならない。

磯見漁は熟練の技を必要とするため、この技術継承も視野に入れた事業展開をしていきたい。

